

海外邦人安全対策連絡協議会（議事要旨）

2025年8月12日（火）11:00-11:40

オンライン会議

1 大使館からの報告等（大使館領事部長）

（1）安全等に関する参考情報

邦人渡航者の強盗被害

邦人渡航者が銃のようなもの（本物かは不明）で脅された強盗被害が発生。

7月19日15:30頃、メンテン地区の歩道を歩いていたところ、バイクに乗った二人組が近づいてきて、後ろに座っていた男性に話しかけられながら腹部に拳銃を突きつけられた。「Phone」のみ聞き取れたので携帯電話を差し出すと奪って逃げていった。追いかけることも考えたが、再び銃口を向けられたので追うことをやめた。怪我等はしていない。

最近あまり聞かない手口ではあるものの、メンテンの日本食スーパーがあるエリアで日中に発生した事案なので、引き続き十分に気を付けていただきたい。

銀行を装った詐欺事案

銀行を装った詐欺事案が立て続けに報告されている。事例2のように、心当たりがなかったり少しでも違和感があれば、一度対応をとめて事実を再確認することを推奨する。

（事例1）

銀行からSMSにて、TokopediaとShopeeで取引しようとしている形跡があると連絡が入った。自身に覚えがないことから、SMSで送付されたリンク先からキャンセル手続きを行おうとしたところ、入力必要項目の中に銀行のデビットカード番号が要求されていたため、そのまま入力してしまった。その後、口座から100Juta以上の金額が支払われていることが判明した。

（事例2：未遂）

銀行からWhatsApp経由の電話が入り、銀行のクレジットカードで大きな買い物をしたかと照会された。大きな金額は使用していないと回答したところ、詐欺の可能性があるのでメールで確認するよう依頼された。会話をしながら、メールを見るように指示され、メールで送付されたリンク先をクリックしたところ、銀行アプリに似ている画面が出て、そこからクレジットカードを止めるよう説明された。この段階で、少しずつ怪しいと感じたため、一度電話を切り、銀行の公式アプリからアクセスしてクレジットカードを止めた。その後、再度電話が来たため、銀行の公式アプリから手続きしたことを伝え、そのやり方でなく、メールに添付しているリンク先から手続きするように再度言われたが、すぐに電話を切り、着信拒否とした。後日、銀行に直接行って確認したところ、WhatsApp番号やメールアドレスも銀行のものではなく偽物

であることが判明した。

【参考】大使館 HP : https://www.id.emb-japan.go.jp/itpr_ja/oshirase25_30.html

空港内における盗難

在留邦人が空港内において盗難にあい、クレジットカードを不正利用された被害が発生。貴重品の管理には十分ご注意いただきたい。

8月5日 17:30~19:00 頃、スカルノハッタ空港第3ターミナルのターンテーブルでスーツケースが出てくるのを待っていた際、カート上部の籠に手提げかばんを置いていた。スーツケースが流れてきたのでカートから3~4m離れたコンベヤーまで行きピックアップした。帰りの車内で手提げかばんの中にあった長財布が無いことに気づいた。車内を探したが見つからないため、自宅に帰り、日本のカード会社へ順次取引停止を依頼したところ、停止依頼した時点で既にカードが使われていることが判明。翌日、空港の警察署に出向き盗難の旨を伝え、空港警察捜査官に伴われて空港施設管理社に出向き CCTV 画像を検索したところ、コンベヤーから荷物を取るためにカートから離れた際、カートに近づき止まり、そしてまた離れた男性がいたことを確認。見かけは東洋人。CCTV 画像でその男性の姿を追いかけたところ、ほどなくもう一人別の男性と合流し二人で空港から外に出ていた。

独立記念日に際しての注意

8月17日は、インドネシアの独立記念日にあたり、例年、各州政府・関係機関、学校、公共広場等において独立を祝う行事が行われる。不測の事態に巻き込まれないよう、関連行事の開催場所、政府・軍・警察関係施設、宗教施設、ショッピングモール等を訪れる際は、周囲の様子に十分注意を払い、不審な状況を察知した場合は、速やかにその場を離れるようにするなど、ご自身の安全確保に留意いただきたい。

なお、本年は運輸省がトラックの過積載の制限に関する規則を実施したことからトラック運転手の抗議活動として、日本アニメ『ワンピース』の海賊旗をつけることにしたことをきっかけとして、独立記念日にもワンピースの海賊旗を掲揚する動きが広がっている。

(2) 領事部からのお知らせ

旅券の残存期間

旅券の残存期間が6か月に満たない場合はインドネシアの入管法によりインドネシア国内に入国ができない。旅券の残存期間が6か月をきっていたためにインドネシアの空港で入国を拒否されたという事例が続いているので、改めてご確認いただきたい。

交通事故による在留邦人の死亡事故

7月末にカラワンの高速道路で在留邦人が亡くなる交通事故が発生。高速道路の出口付近でワゴン車に乗っていた日本人男性がダンプトラックの下敷きになって亡く

なされた。トラックは過積載で、走行中にふらつき、中央分離帯にぶつかり横転、隣の車線の車にぶつかったとのこと。過積載のトラックが多い道路もあるため、ドライバーにも情報共有いただくなどして十分に注意いただきたい。

2 出席者からのコメント、各社・団体からの報告等

特になし。

次回開催は10月14日（火）11:00-オンライン会議を予定

※9月9日（火）の開催に関しては、9月初めに開催要望についておうかがいします

以上